

第1学年 音楽科年間指導計画及び評価計画

平成24年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	よい発声で歌おう	・発声の基本を理解し、よい発声で歌おうとする姿勢を身に付ける。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、それに合わせた歌い方で歌う。 (学習指導要領：歌唱ア) (教材：校歌、Forever)	5	歌詞の内容や曲想を生かして、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞の内容や曲想を味わい、雰囲気を感じ取りながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を、身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
5	旋律のまとまりと構成	・リズムや旋律、構成などの、音楽を形作っている要素を知覚する。 ・表現したいイメージをもち、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽を作る。 (学習指導要領：歌唱ア、創作イ) (教材：主は冷たい土の中に、My Melody)	5	・リズムや旋律のまとまり、強弱の働きに関心を持ち、それらを生かし歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・長音階の特徴に関心を持ち、決まったリズムを生かして旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	・リズムや旋律のまとまり、強弱を知覚し、曲想を感じ取りながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・まとまりや変化のある旋律をどのようにつくるかについて思いや意図をもっている。	・曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 ・長音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律をつくり、記譜している。		授業の取組 ワークシート 実技 作った旋律	定期考査
6	情景と音楽の関わり	・音楽を形づくっている要素や構造と、その音楽が表わす情景との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 (学習指導要領：鑑賞ア、イ) (映画「ジョーズ」から”ジョーズのテーマ”、「春」第1楽章)	2	音楽を形づくっている要素の働きや、それらと曲想との関わりについて関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素や特質を知覚・感受しながら、それらと曲想との関わりを感じ取って言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート	定期考査
	音の重なり的美しさとアルトリコーダー	・アルトリコーダーの基礎的な表現技能を身に付ける。 ・リコーダーの音色と歌声の重なり的美しさを感じ取って表現する。 (学習指導要領：器楽ア、イ、ウ、歌唱ウ) (教材：喜びの歌、主は冷たい土の中に、アメージンググレース)	4	アルトリコーダーの音色や歌声との重なりに関心を持ち、基礎的な奏法を身につけて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。		アルトリコーダーの特徴を捉えた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。		授業の取組 実技	定期考査
7	オーケストラの響きを味わおう	・音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 ・音楽の特徴を、その背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて鑑賞する。 (学習指導要領：鑑賞ア、イ) (教材：オーケストラ鑑賞教室)	2	音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連について関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、解釈したり考えたりし、鑑賞している。	ワークシート	定期考査
9	混声合唱へのステップ	・へ音譜表について理解し、混声合唱に取り組む。 ・声部の役割や旋律の重なり方を感じ取って、全来の響きに気を付けながら合わせて歌う。 (学習指導要領：歌唱ウ) (教材：パフ、朝の風に)	4	変声後の男子の声の高さとへ音譜表との関係や声部の役割に関心を持ち、音楽表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。	音の重なり方の特徴や声部の役割、全体の響きを感じ取りながら音楽表現を工夫することに思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
10	音色を生かしたアンサンブルをしよう	・アルトリコーダーの音色を生かし、声部の役割や全体の響きを感じ取りながら合わせて演奏する。 (学習指導要領：器楽イ、ウ) (教材：アメージンググレース他)	4	ハーモニーの働きと曲のまとまりとの関係に関心を持ち、音楽表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。	ハーモニーの働きと曲のまとまりとの関係を感じ取り、音楽表現を工夫することに思いや意図をもっている。	曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
11	物語を歌で表現する芸術	・曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴く。 (学習指導要領：鑑賞ア) (教材：魔王)	2	詩と音楽が一体となっている歌曲の表現効果に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			歌詞に表されている場面の描写や登場人物の心情の変化と旋律や強弱、伴奏の変化との関わりを感じ取って、情景をイメージしながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート	定期考査
	詩と音楽の関わり —日本の歌を歌い継ごう—	・歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って歌唱表現を工夫する。 (学習指導要領：歌唱ア、イ) (教材：赤とんぼ、浜辺の歌)	3	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感じ取りながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査

12	日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素の知覚を通して日本の伝統音楽の多様性を感じ取る。 (学習指導要領：鑑賞ウ) (教材：箏曲「六段の調べ」、尺八曲「巢鶴鈴慕」) 	2	我が国の伝統音楽に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、我が国の伝統音楽の特徴を感じ取って解釈したり考えたりし、鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	定期考査
1	混声合唱へのステップ —様々な曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 (学習指導要領：歌唱ア、ウ) (教材：カリブ夢の旅、合唱コンクール自由曲、卒業式歌) 	10	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
2									
3	アジアの音楽の魅力を求めて	<ul style="list-style-type: none"> アジアの音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って鑑賞する。 (学習指導要領：鑑賞ウ) (教材：アジアの諸民族の音楽) 	2	アジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、アジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	
年間合計時数			45	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第2学年 音楽科年間指導計画及び評価計画

平成24年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	よい発声で歌おう	<ul style="list-style-type: none"> 発声の基本を理解し、よい発声で歌おうとする姿勢を身に付ける。 歌詞の内容や曲想を味わい、それに合わせた歌い方で歌う。 全体の響きを感じ取って合わせて歌う。 (学習指導要領：歌唱ア、ウ) (教材：校歌、夢の世界を)	4	形式や音の重なり方などの特徴から、曲想の変化を感じ取って音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。	形式や音の重なり方などの特徴から、曲想の変化を感じ取り、音楽表現を工夫してどのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
5	アカペラの魅力	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいの違いを感じ取る。 声だけで美しいハーモニーを表現する。 和音から対旋律（オブリガード）を作曲する。 (学習指導要領：鑑賞ウ、歌唱イ、ウ、創作ア、イ) (教材：アカペラの合唱曲、Kum Ba Yah)	4	<ul style="list-style-type: none"> 歌声の特徴に関心を持ち、それらによる味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 自分の歌声やアカペラのハーモニーに関心を持ち、それらを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 表現したいイメージを持ち、和音から副次的な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい音程で美しいハーモニーができるように工夫し、曲にふさわしい歌声でどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 表現したいイメージを持ち、和音から副次的な旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲にふさわしい歌声、正しい音程で音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 和音から副次的な旋律をつけるために必要な技能を身に付けて、副次的な旋律をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいの違いを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 実技 作った旋律	定期考査
6	音色を生かしたアンサンブルをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏する。 (学習指導要領：器楽ア、イ、ウ) (教材：未定)	4	曲想、楽器の特徴、基礎的な奏法、声部の役割と全体の響きとの関わりなどに関心を持ち、それらを生かした曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、曲想を味わう、楽器の特徴を理解する、基礎的な奏法を生かす、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
7	曲の仕組みを理解して名曲を鑑賞しよう	<ul style="list-style-type: none"> 動機がどのように使われているのか探りながら「ソナタ形式」の仕組みを理解する。 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 (学習指導要領：鑑賞ア) (教材：交響曲第5番ハ短調)	2	オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機や旋律の組合せ方、ソナタ形式や構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			「交響曲第5番」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
9	声部の重なり方や旋律線の理解と表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。 旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、それにふさわしい表現を工夫する。 多声音楽の仕組みを理解して鑑賞する。 (学習指導要領：歌唱ア、ウ、鑑賞ア) (教材：夏の日の贈りもの、フーガ短調)	4	<ul style="list-style-type: none"> 旋律線や音の重なり方などに関心を持ち、それを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 パイプオルガンの音色やフーガの形式などと曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 旋律線や音の重なり方などを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 パイプオルガンの音色やフーガの形式などと曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> パイプオルガンの音色やフーガの形式などと曲想との関わりを感じ取り、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
10	日本の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歌について、歌詞や旋律などと曲想との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫して歌う。 日本の伝統楽器の基本的な表現技能を身に付ける。 (学習指導要領：歌唱ア、器楽イ) (教材：荒城の月他)	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本歌曲の歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 日本の楽器の特徴、基礎的な奏法に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本歌曲の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 日本の楽器の音色や奏法の特徴や、音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを感じ取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本歌曲の曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 日本の楽器の特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査

11	舞台芸術と音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴や魅力について、他の芸術との関わりを理解しながら鑑賞し、そのよさの根拠を言葉で説明することで、より深く音楽のよさや美しさを味わう。 我が国の伝統音楽の特徴を理解して鑑賞する。 (学習指導要領：鑑賞ア、イ、ウ) (教材：アイダ、勸進帳) 	3	オペラや歌舞伎について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	定期考査
12	混声合唱へのステップ —様々な曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 (学習指導要領：歌唱ア、ウ) (教材：合唱コンクール課題曲、自由曲、卒業式歌) 	8	歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
1									
2									
3	世界各地の歌声	<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴と声の音色とのかかわりを理解して鑑賞する。 (学習指導要領：鑑賞ウ) (教材：世界の諸民族の音楽) 	2	世界の諸民族のさまざまな音楽の特徴や多様性、歌声の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			歌声の特徴や音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞している。	授業の取組 ワークシート	
年間合計時数			35	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第3学年 音楽科年間指導計画及び評価計画

平成24年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力	授業中における評価	授業後における評価
4	日本の歌の 美しさを 味わおう	<ul style="list-style-type: none"> よい発声で歌唱する。 歌詞の内容や曲想を味わい、それに合わせた歌い方で歌う。 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、よさを味わう。 日本の歌の美しさを味わう。 〈学習指導要領：歌唱ア、鑑賞ア、ウ〉 〈教材：花、早春賦〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歌の歌詞の内容や曲想に関心をもち、それらを生かした曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心をもち、日本歌曲の鑑賞に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歌の歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して、日本歌曲の雰囲気を感じしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
5	声部の重なり 方や旋律線の 理解と 表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。 旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、それにふさわしい表現を工夫する。 全体の響きを感じ取って合わせて歌う。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：風の中の青春〉	3	<ul style="list-style-type: none"> 声部の重なり方や旋律線などに関心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 声部の重なり方や旋律線などを知覚し、その働きが生み出す曲想を感じながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
6	音色を生かした アンサンブル をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏する。 〈学習指導要領：器楽ア、イ、ウ〉 〈教材：マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 曲想、楽器の音色、基礎的な奏法、声部の役割と全体の響きとの関わりなどに関心をもち、それらを生かした曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わう、楽器の音色や基礎的な奏法を生かす、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
7	音楽から曲想 や作曲者の 思いを 感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想を感じ取る。 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解し、鑑賞する。 〈学習指導要領：鑑賞ア、イ〉 〈教材：ブルタバ（モルダウ）〉	2	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 	授業の取組 ワークシート	定期考査
9	混声合唱への ステップ① —様々な 曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 〈学習指導要領：歌唱ア、ウ〉 〈教材：合唱コンクール課題曲〉	4	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 		授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
10	ポピュラー 音楽の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ポピュラー音楽の特徴や音楽の多様性を理解して鑑賞する。 和音から対旋律（オブリガード）を作曲する。 〈学習指導要領：鑑賞ウ、創作ア、イ〉 〈教材：Hey Jude〉	3	<ul style="list-style-type: none"> ポピュラー音楽を聴いて音楽を形づくっている要素が生み出す曲想に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 表現したいイメージをもち、和音から副次的な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現したいイメージをもち、どのような副次的な旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 和音から副次的な旋律をつけるために必要な技能を身に付けて、副次的な旋律をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、ポピュラー音楽のよさを味わって聴いている。 	授業の取組 ワークシート 作った旋律	定期考査

11	世界の歌と音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしい発声や歌い方を工夫して歌唱表現をする。 ・諸外国の音楽に接し、それらの味わいを支えている音色や旋律、リズムなどの特徴を感じ取って鑑賞する。 (学習指導要領：歌唱イ、鑑賞ウ) (教材：帰れソレントへ、世界の諸民族の音楽) 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア歌曲の特徴を表現できるような発声に関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・世界の諸民族の楽器の特徴や音色と音楽の多様性に関心を持ち、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、曲種に応じた発声を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲種に応じた発声を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸民族の楽器の特徴や音色を知覚し、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取りながら、音楽の多様性を理解して解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 	授業の取組 ワークシート 実技	定期考査
12	日本の伝統音楽や世界の名曲の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統音楽の特徴から、音楽の多様性を理解して鑑賞する。 ・音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 ・音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞する。 (学習指導要領：鑑賞ア、イ、ウ) (教材：越天楽他) 	2	音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連、我が国の伝統音楽や音楽の多様性などに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する、我が国の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業の取組 ワークシート	定期考査
1	混声合唱へのステップ② —様々な曲想の表現—	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 (学習指導要領：歌唱ア、ウ) (教材：合唱コンクール自由曲、学年合唱曲、卒業式歌) 	10	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。		授業の取組 ワークシート 実技	
2									
3									
年間合計時数			35	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					